

全国都市緑化とっとりフェア開幕



ナチュラルガーデン



- ①鳥取城の石垣と同じ工法で作った花壇
- ②砂像と草花のコラボで山陰海岸と日本海をモチーフにしたアースガーデン
- ③県内の子どもたちが絵を描いた植木鉢
会場には1000鉢以上を展示
- ④フェアのシンボルフラワー『サンインギク』
- ⑤会場内の数カ所に施されているユニークな形の彫刻



鳥取流の庭園で来場者を歓迎

全国都市緑化フェアは、昭和58年から毎年全国各地で開催されている花と緑の博覧会で、昨年の東京フェアでは500万人以上が来場しました。

とっとりフェアのメインを飾るのは、全国的に有名なガーデンデザイナーであるポール・スミザーさんが3年かけて制作したナチュラルガーデン。多種多様な植物が生息する「植物の宝庫・鳥取」の草花を中心に、約7000平方メートルの敷地に170種以上の植物を組み合わせ、『鳥取の秋

9月21日(土)から11月10日(日)までの51日間、第30回全国都市緑化とっとりフェアが、本市の湖山池公園を主会場に開催されます。テーマは『ともに育てる身近な緑。水と緑につつまれた世界ジオパークのまちから』。日本一広い天然池・湖山池の雄大な景色と、約600種・39万株の草花とのコラボは必見。心が緑に染まる秋、始まりです。
問い合わせ先 緑のまちづくりオフィス ☎0857-25-3511



景色』が描き出されています。また、花壇の石積みも鳥取城の石垣と同じ工法を採用。細かいところまで鳥取の魅力を盛り込んでいます。会場をより美しく見せるためにこだわったのは、「視界」です。園路を曲げたり起伏を利用することにより、先が見通せない構造になっています。会場の奥へ進むたびに違う景色が顔をのぞかせ、来場者のみなさんは絵本を読み進めているような楽しさを感じることが出来ます。

砂像と草花との芸術的なコラボ

フェアの大きな見どころの1つは、鳥取砂丘の砂を使った彫刻「砂像」と、可憐な草花がコラボした『アースガーデン』です。水に弱い「砂」と水が必要不可欠な植物。相反する2つの素材の融合は、鳥取の新しいアートです。約3000平方メートルの大地をキャンパスに見立て、繊細な彫刻と草花で日本海や断崖絶壁を表現します。

日替わりのイベントで何度でも楽しめる

会場内には約300

500席収容の巨大なテントとステージを設置。ステージでは、毎日日替わりでイベントが行われ、何度来ても飽きることがありません。また、各地のご当地グルメや鳥取の食材を活かしたメニューでみなさんをおもてなします。
フェア終了後も市民の憩いの場として活用
ナチュラルガーデンに植え付けられた多年草は、数年に

渡って何度も花が咲くため、フェアが終わった後もみなさんの憩いの場として活用されます。
また、私たちにとって身近な植物や素材を用い、自然をお手本にデザインされた会場は「鳥取流緑化スタイル」のシンボルです。この庭を多くの人たちに見ていただき、「鳥取流緑化スタイル」をみなさんの家庭に取り入れてみてください。

■入場料金(主会場)
大人:600円、小・中・高生:300円
(前売価格 大人:400円、小・中・高生:200円)
※会期中何回でも入場できるパスポート入場券や、『鳥取砂丘 砂の美術館』とのセット入場券など、お得なチケットを多数用意しています。
※小学生未満の幼児、学校団体(小・中・高)、障がいのある人とその介護者1人は無料
☎入場券販売管理センター ☎080-2928-3640

9月・10月上旬の主な催し

月日	イベント名	内容
9	趣味の園芸フェア	NHK「趣味の園芸」で人気の「玉さん」こと玉崎弘志さんがやって来る!
	ナチュラルガーデン・アドベンチャー	ポール・スミザーさんが自ら手掛けたナチュラルガーデンをアナタに解説する! ※10月5・6・14日、11月4日も開催
10	未来のとっとりシンポジウム	ポール・スミザーさんや2013ミス日本グランプリの鈴木恵梨佳さんなど、園芸のスペシャリストが一堂に会し、緑化について熱く語ります!
	梅木あゆみ×ポール・スミザートークセッション	カリスマ園芸家と日本のナチュラルガーデンの第一人者の夢のコラボが実現!ここだけのちょっとタメになる話を聞いてみよう!
10	ペンギン散歩	松江フォーゲルパークの人気者のペンギンが散歩する。ふれあい体験もあるよ!

- 【土日祝日限定】**
- ▶わくわく遊具
高所作業車に乗って会場を眺めたり、ハムスターボールなどで体を使って楽しもう!
 - ▶動物ふれあいコーナー
かわいいウサギやモルモット、ヤギにふれてみよう!
※詳しくは、<http://oasistottori.jp/>をご覧ください。

